

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている試料（分離された菌株）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（分離された菌株）を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	イムノクロマト法による薬剤耐性因子カルバペネマーゼ検出キットの性能評価
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	愛媛大学医学部附属病院 検査部 村上 忍
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2025 年 12 月 31 日
対象	2006 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日に愛媛大学医学部附属病院を受診された方から分離され、カルバペネマーゼ遺伝子保有が確認された菌株。
利用する試料・情報等	(利用する試料) 分離された菌株
研究の概要 (目的・方法)	国内で問題となる、カルバペネマーゼ遺伝子には IMP 型、VIM 型、KPC 型、NDM 型、OXA 型、GES 型があるが、GES 型については同定法が無い。今回、我々は新しく開発されたイムノクロマト法による薬剤耐性因子カルバペネマーゼ検出キットを用い、GES 型を含めた遺伝子の迅速検出の検討を行う。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 検査部 村上 忍

	791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5621
--	---

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの試料・情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	(愛媛大学医学部附属病院・検査部) (主任臨床検査技師) (村上 忍)
共同研究機関	(株式会社ミズホメディール・開発企画部 (課長) 小笠原 真也)